

副読本を活用した授業実践 「家族と考えよう、我が家の防災の取組」

1 日時

7月18日(金) 5校時, 8月27日(水) 5校時

2 対象

全校生徒およびその家族

3 ねらい

- (1) 家族で防災に関わる取り組みの機会を持ち、家庭での自助の力を高める。
- (2) 学校で、各家庭での防災の取組についての情報を共有し、様々な取組を知ることにより、より良い家庭での防災につなげていこうとする気持ちを高める。
- (3) 防災副読本を利用して、より具体的な例を挙げて防災への意識を向上させる。

4 内容

(1) 各学年の取組

- ① 1学年 「家にいる時、地震が起こったら」
- ② 2学年 「外出時に地震が起こったら」
- ③ 3学年 「災害に備えて」

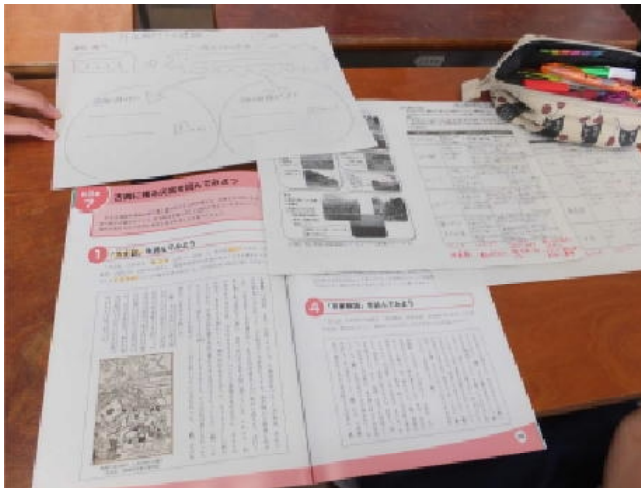
(2) 取組方法

- ① 夏休み前に事前学習を行い、夏休みに家族で防災について話し合うことや、その意識付けを防災副読本を用いて行い。各学年毎に共通の取組を行った。
- ② 夏休み中に各家庭で防災についての話し合いを行い、課題のワークシートをまとめた。
- ③ 夏休み明けに、各生活班ごとに各自発表を行い、それぞれの家庭で考えてきた意見を共有する。その後、防災副読本も使いまとめ学習を行った。



夏休みの宿題を班で確認し、各家庭でどのように取り組んだのか、確認をする。

それぞれの意見を出し合い，班
でまとめ学習を行った。防災に関
する考えや意見を共有できるよう
に各学年工夫を凝らし，まとめ学
習を行った。



副読本を使い，「自宅内避難所」や「循
環備蓄」などについて，あらためて防災
への意識を高めたり，その必要性につい
て考えたりする時間になった。

各学級で，工夫を凝らした授業展
開をし，様々な意見を学級で発表し
合った。実際に校外で災害にあった
際の意識を向上することができた。

